

寄せられたご意見と市の考え方

第1号議案 「西播都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更（兵庫県決定）について

ご意見	市の考え方
<p>(一委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域主導による都市づくりがスムーズに進展する県対応と市町への権限移譲も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「西播都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」については、兵庫県が、市町村を越えた広域的な見地から、今後の主要な都市計画の方針等を定めるものであります。地域主導による都市づくりに向けた権限移譲等については、各々の施策実施において検討が必要と考えます。
<p>(一委員)</p> <p>政府は、人口減少を背景に都市機能を市街地に集約する「コンパクトシティ」の政策を進めています。その柱は、自治体が作成する「立地適正化計画」です。姫路市では、この計画は平成30年に策定し、JR姫路駅周辺を拠点とする商業施設や医療施設、金融施設等、市民生活のために必要な施設を集積させたコンパクトシティが整備されつつあります。赤穂市は計画を策定していないとのことですが、姫路市を中心とする広域連携に加わっています。赤穂市からの転出増加に拍車をかけることにならないか。</p> <p>市内においても中心部との格差が生じています。今回のプランでは、都市づくりの基本理念に新型コロナウイルス危機を契機に持続可能な分散型社会への転換が目標とされています。注目するところです。もともと「コンパクトシティ」とは、イギリスの都市計画思想の中で生まれてきたものです。歩いて暮らせる街、人間の徒歩行動圏を大事にしようという考え方です。政府が進めるのはエクспанション(拡大)・シティです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢社会の進行やコロナ禍を契機とした社会の変化を踏まえ、西播磨地域都市計画区域マスタープラン案13頁、「(3) 持続可能な都市構造の形成」に記載のとおり、「地域連携型都市構造」の実現により、大都市部への一極集中を行うものではなく、大都市、地方都市、中山間地域等が産業、医療・福祉、商業等の諸機能において役割分担し、相互に連携することにより、各地域が活力を持って自立できる都市構造を目指すと考えられています。本市としても、この方針を踏まえて、今後のまちづくりに取り組んでまいります。

寄せられたご意見と市の考え方

第2号議案 西播都市計画区域防災街区整備方針の変更について

ご意見	市の考え方
<p>(一委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・計画通り進展するような国・県の交付金・補助金等の確実な支援を求めます。	<ul style="list-style-type: none">・防災街区整備方針は、市街化区域内の密集市街地において、火災や地震が発生した場合に、延焼防止や避難路の確保といった防災機能の確保を図るため、整備方針として示したものです。この方針に沿って、着実に事業進捗が図れるよう、国・県の支援を受けながら取り組んでまいりたいと考えています。

寄せられたご意見と市の考え方

協議第1号 西播都市計画道路塩屋野中線の変更（赤穂市決定）について

ご意見	市の考え方
<p>(一委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 立体交差から平面交差に変更する計画になっているが、安全性からも通行上も立体交差の方が良いと考えるが、変更する理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の変更は、列車の運行状況や沿道の利便性、交通量、災害時の安全性等を総合的に勘案して、平面交差に変更するものであります。また、それに伴い交通の安全性を高めるために、踏切との交差角度を改善するとともに、道路線形を変更するものであります。
<p>(一委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚障がい者、高齢者の踏切事故が多いため、安全に配慮された計画であってほしい。完成した後も当事者による検証や意見収集が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 踏切内での安全確保については、事業を進める中で、鉄道管理者である JR と協議し、安全確保に努めてまいります。 検証や意見収集については、踏切整備にあたって参考にさせていただきます。
<p>(一委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面交差について、JR 協議において同意はとれているのか？ 平面交差に変更することについて、区画整理組合や地元自治会はどう考えているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 平面交差については、JR の理解を得ております。 平面交差への変更については、これまでに組合や地元自治会から要望をいただいております。
<p>(一委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩屋野中線と JR 線路及びショートカットに囲まれた地域住民には、道路形態及び交通状態の変化について、また、区画整理組合加入維持、清算金について十分説明し理解を得ること。 塩屋野中線の JR 平面交差を確定し、北野中第 2 踏切は、重要な防災通路、通学路や生活道路で、住民要望の通り閉鎖せず、住民の改善要望を聞き入れること。 塩屋野中線による新たな交差点は、交通安全を確保するため信号機の設置を検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 塩屋野中線と JR 線路及びショートカットに囲まれた地域住民に対しては、これまでも組合において地元説明会を開催する等、今回の都市計画変更について説明しており、平面交差について異論はありませんでした。 組合加入維持や清算金については、野中・砂子土

<ul style="list-style-type: none"> 交通渋滞が発生しないよう各交差点は右折レーンを設置すること。 	<p>地区画整理組合の中で協議してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北野中第2踏切について、地元からは存続の要望を伺っており、その点を踏まえてJRと協議してまいります。 信号機や右折レーン等の交通規制については、今後、交通量や交差点の状況等を勘案し、兵庫県公安委員会において判断されることとなります。なお、今回の都市計画変更の内容については、兵庫県公安委員会と協議し、理解を得ております。
<p>(一委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 立体交差の方が交通がスムーズで、安全性も高いと思う。平面交差は水災害の時の不安だけではないか。従って立体交差の方が有益です。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の変更は、列車の運行状況や沿道の利便性、交通量、災害時の安全性等を総合的に勘案して、平面交差に変更するものであります。また、それに伴い交通の安全性を高めるために、踏切との交差角度を改善するとともに、道路線形を変更するものであります。
<p>(一委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 野中・砂子地区区画整理事業地内での変更で地元住民の説明会は行うのか、また区画整理組合には説明しているのか。 桜木町の中学生(坂越中学校)は通学路として北野中第2踏切を通過して、野中・砂子土地区画整理区域内を通学させる方が安全であり、また鉄道より西側の住民が災害にあった場合には野中砂子防災公園の半径500m以内の住民が非難する為に必要な踏切で、北野中第2踏切を利用することが望ましいので北野中第2踏切は存続されたい。 下長田橋の付替えで予算を約10億円と言われている。区画整理地内の役員の皆さんは付替えせずに、歩道・自転車道をつけてほしいとの意見が寄せられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元説明会については、組合において、さくら通り地区を対象に11月に開催しました。また、野中・砂子土地区画整理組合の理事会や総代会において都市計画変更の内容を説明し協議しており、2月17日には赤穂市内の方を対象とした説明会をしております。 北野中第2踏切について、地元からは存続の要望を伺っており、その点を踏まえてJRと協議してまいります。 下長田橋の付替えについては、野中・砂子土地

画整理事業において架け替え整備する予定であり、事業実施にあたっては、経済性や利便性等も考慮し、検討してまいります。